



# 学校だより

## 子どもの居場所づくり

先週、梅雨入りが発表され、蒸し暑かったり寒かったりと不順な天候が続く、体調を崩しやすい時期です。『早寝、早起き、朝ごはん』、規則正しい生活、栄養をきちんととる、疲れを残さないなどのようにして、このうとうしい時期を乗り切りたいと思います。

先週まで山陽新聞に『子どもが危ない～深刻化するネットの闇～』という特集が掲載されていました。スマホをはじめとしたネット環境による様々な問題が起こっています。インターネットスラッグに「リア充」という言葉があります。リアル（現実）の生活が充実している人物を指す言葉だそうです。インターネット上のコミュニティ（SNS等）に入り浸るのは、現実生活が充実していない人だとも言われています。



急激な進歩を遂げ、大変便利になったネットの世界。子どもたちは、これからの生活の中で、ネットの恩恵を受けることになるでしょう。しかし、その前に、今この時期に、家庭・学校・地域社会といった現実生活を充実させるためにも、しっかりとした居場所を確保することが大切だと思います。

自分の居場所を作るためには、安心していられる人間関係を作ること、勉強が分かること、好きな時間や場所があることなどが必要になります。集団づくりを通して、人とかかわり方、相手の気持ちを推し量る力、トラブルを話し合いで解決する力などを培っていきます。一人一人の子どもが、ありのままの自分を出せること、それがわがままでなく、集団の中の一人として尊ばれること、少しのがまんや譲り合いができる、そんな集団が子どもにとっての居場所となるのだと思います。

学校でも、先週1週間、『白石小もつとながよしウィーク』と称して、友達関係を見直し、さらによい関係が築けるように様々な取り組みを行いました。日頃の活動でも、中学校との連携、また、白石踊の伝承活動をはじめとして地域の皆様に多くの協力をいただきながらの地域との連携で、より多くの人間関係を作っていけるようにと思っています。保護者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

### 白石小もつとながよしウィーク

- いじめゼロ いつもえがおの白石小 ○○○○
- 友達と なかよく遊んで 楽しいな ○○○○
- いじめはね みんなの心 きずつくる ○○○○
- ぼくたちの 絆はいつも 無限大 ○○○○
- 友だちと いつもいっしょに 笑おうよ ○○○○
- 自分から なかよしの輪を 広げよう ○○○○
- 笑顔でね いじめをなくそう 世界中 ○○○○
- いけないよ 言葉の暴力 体への暴力 ○○○○
- みんなとね 仲よくすれば 楽しいよ ○○○○
- みんなで 仲よく 笑い合おう ○○○○

白石小・中学校では、従来から、教育活動の交流や行事の合同実施など、教育活動の連携を積極的に進めています。今年度も、「白石踊の練習」「海岸清掃」「合同給食」等の行事を行っています。昨年度から始めた「合同遊び」も楽しく活動できました。今年は、土曜参観日の後の自由時間に自然発生的に小中学生が集まって、全員で遊ぶ姿も見られました。また、今年度初めて、運動会に向けての合同体育も1学期に行いました。

## 小中連携



合同白石踊練習



海岸清掃



合同遊び



合同体育

これからも、学習面・合同行事等で交流を進め、小・中の絆を深めていきたいと思っています。



野菜の植え付け



桑産業についての講話

## 地域の特性を生かして

白石小学校では、「地域に根ざした特色ある学校づくり」を進めています。国の重要無形文化財「白石踊」の継承活動をはじめ、地域の特性（人材・文化・自然等）を生かしていきたいと考えています。生活科や社会科、総合的な学習の時間を中心に、地域を題材に学習を進めていきます。

低学年は、生活科で、植物の生長や地域で働いている人々や様々な場所について調べ、自分とのかかわりを理解して、生活に生かせるようにしていきます。

中学年は、社会科で、地域への理解を深め、地域社会の一員としての自覚を持つようにします。

中・高学年では、地域を題材に、自分で課題を見つけ、探求活動に取り組む中で、自己の生き方にも結びつけることを目的としています。

これらの学習で、自分たちの生まれ育った白石島の人々、自然についての理解を深めていきたいと思っています。

このことが、「自分や地域に誇りをもち、将来に向けてたくましく生きる」ことにつながると考えています。

いろいろな場面で、ご協力をお願いすると思いますが、よろしくお願いします。



桑の実収穫体験



桑の実洗浄体験



天野ストア見学



駐在所見学